

2012年3月29日


スノーエリア再活性化のための若者需要創出プロジェクト
【日本全国89カ所のゲレンデが19歳無料！「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」結果報告】
2011年度19歳会員登録数4万9,000人、延べ動員数12万人達成！
～スノーエリアに2.8万人の19歳層新規創出～

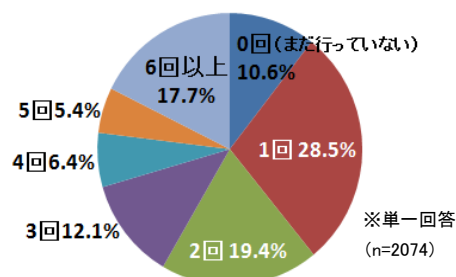
株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:柏木齊、以下リクルート)の旅行ディビジョンに設置された調査・研究組織「じゃらんリサーチセンター(以下、JRC)」は、この冬、スキーエリア再活性化のための若者需要創出プロジェクト「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」を企画・実施いたしました。このプロジェクトでは、JRCの呼びかけに賛同した日本全国89カ所のゲレンデと連携し、2011年度中19歳の男女(※)のリフト券代を無料に。スノーアクティビティ業界にとって最も重要なエントリー層と考えられる19歳層を対象にコミュニケーションを展開し、スノーエリア再活性化を目指しました。本取り組みの初年度の結果について、ご報告いたします。本結果を受け、来冬も、本プロジェクトを継続実施いたします。

※1992年4月2日～1993年4月1日生まれ、リフト券無料のためには事前にネットで会員登録(無料)が必要

■ 2011年度19歳会員登録数4万9,290人(3月27日時点)、ゲレンデ延べ動員数12万8,647人(推計)。会員の9割が来訪、平均来訪回数2.61回と来訪率が高い

「雪マジ！19」会員登録者4万9,290人のうち、9割が今冬ゲレンデへ行ったと答え(右グラフ参照)、来訪0回層を含む平均ゲレンデ来訪回数は2.61回と、高い来訪率の結果となった。結果「雪マジ！19」によるゲレンデ来訪延べ人数は約12万人超(※1)となった。認知経路はクチコミが70.9%、訪問した「雪マジ！19」ゲレンデの数は平均して1.63カ所となり、複数のゲレンデを訪れている傾向が見てとれた。

※1「雪マジ！19」会員4万9,290人×平均来訪回数2.61回＝12万8,647人

Q: 雪マジ！19によってゲレンデに来訪した回数


『雪マジ！19会員対象調査』

■ 「雪マジ！19」によって、19歳層のゲレンデ延べ動員数2.8万人を新規創出(推計)

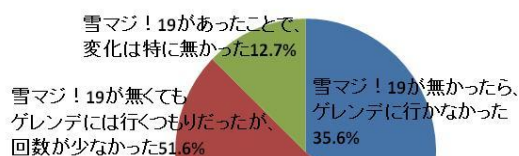
「雪マジ！19」による延べ来訪者数12万人超のうち、この企画により創出された新規需要を3万人弱と推計(※2)。従来の19歳によるスノーアクティビティ市場(推計延べ28万人)に対し約10%の需要創出効果に相当する。

※2 「雪マジ！19」会員4万9,290名×0.57回(「雪マジ！19」会員の平均来訪回数2.61回－通常の19歳平均来訪回数2.04回 ※3)＝2万8,095人

<参考: 19歳のスノーアクティビティ市場(推計)>

19歳人口	19歳のスキースノーボード実施率(※3)	19歳の1シーズンのスキー場来訪回数(※3)	19歳のスキースノーボード実施者数(ユニーク)	19歳のスキー場延べ来場者数
<A>		<C>	<A×B>	<A×B×C>
121万人	11.70%	2.04回	14万1,570名	28万3,140名

※3: 『スキーエリア再活性化のためのマーケティング調査』2011年1月じゃらんリサーチセンター調べ

Q: 雪マジ！19によるゲレンデ来訪回数の変化


『雪マジ！19会員対象調査』

■ 「ウェア」「板・ボード」のレンタル利用率は約5割。来冬のゲレンデ来訪意向は、96.4%が「是非行きたい」と回答

・本プロジェクトは、フリーミアムビジネスモデルをゲレンデへ応用し、市場拡大と利益拡大を目指した。今季スノーアクティビティを開始した19歳層が来年は有料で来訪すること、来訪した19歳層が「レンタル」「スクール」「宿泊」「飲食」などゲレンデで周辺消費を行うことを期待し、無料で多くの顧客をつかんだ上で課金を目指した結果、「雪マジ！19」来訪者は初心者比率が高く、「ウェア」「板・ボード」のレンタル利用率も高い結果(50.1%)となった。

・また、今冬の「雪マジ！19」会員に対し、来冬のゲレンデ来訪意向を5段階評価で訪ねたところ96.4%が最も強い意向である(「雪マジ！19」が無くて)ゲレンデに是非行きたい」と回答している(『雪マジ！19会員対象調査』)。

本プロジェクトの結果詳細はこちら <http://jrc.jalan.net/jrc/files/newsrelease/yukimaji19.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート 広報部 社外広報G 西川 裕子
 TEL: 03-6835-6590 E-mail: yukon@r.recruit.co.jp

■2011年度「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」登録会員プロフィール（2012年3月27日時点）

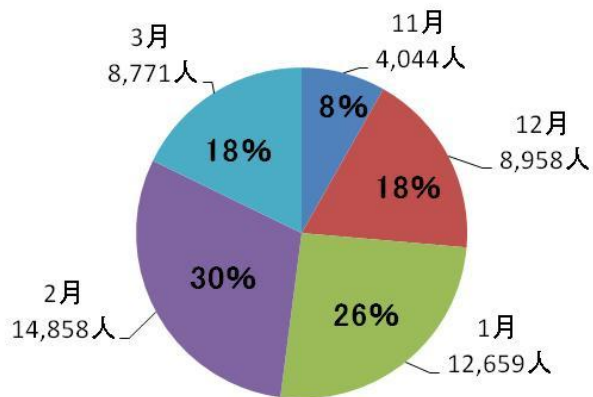
■都道府県別登録者数(上位順)

順位	都道府県	登録者数
1	東京都	4,665
2	埼玉県	3,554
3	福島県	2,779
4	神奈川県	2,716
5	長野県	2,640
6	愛知県	2,525
7	新潟県	2,284
8	群馬県	2,272
9	茨城県	2,010
10	大阪府	1,764
11	千葉県	1,537
12	栃木県	1,469
13	広島県	1,445
14	北海道	1,410
15	兵庫県	1,363
16	滋賀県	1,312
17	宮城県	1,269
18	岐阜県	1,247
19	岡山県	1,185
20	京都府	1,079
21	山梨県	871
22	青森県	862
23	山形県	838
24	福岡県	783
25	鳥取県	731
26	岩手県	651
27	静岡県	645
28	島根県	440
29	熊本県	402
30	三重県	384
31	山口県	317
32	奈良県	242
33	秋田県	240
34	富山県	213
35	石川県	203
36	鹿児島県	164
37	宮崎県	151
38	香川県	138
39	福井県	118
40	和歌山県	80
41	佐賀県	58
42	愛媛県	54
43	徳島県	48
44	高知県	41
45	長崎県	41
46	沖縄県	25
47	大分県	25
	合計	49,290

■男女内訳人数

性別	登録数	%
女性	16,568	33.6%
男性	32,722	66.4%
計	49,290	100.0%

■会員登録時期

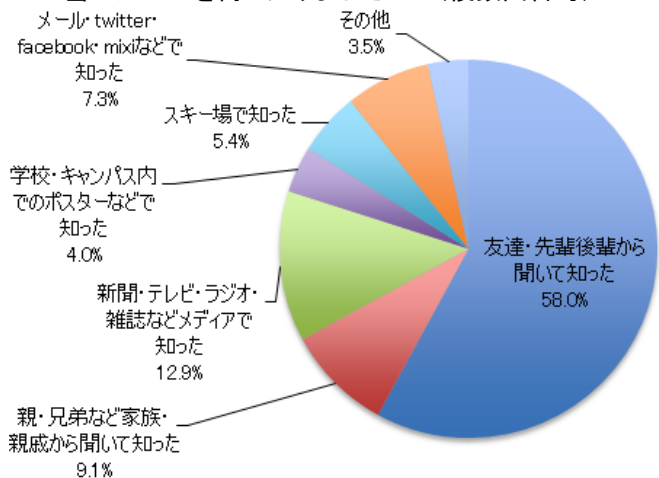


※2011年11月は、11月7日から登録開始

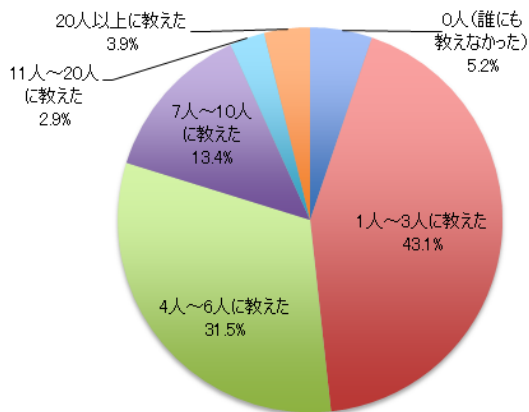
※2012年3月は、3月27日時点までの登録数

■19歳層の「雪マジ！19」認知経路はクチコミが7割、認知者の95%は口頭やメールで友達に教え、半数以上はソーシャルメディアやブログに書き込む。友達のつながり・ネットワークによる情報伝播力の強さが特徴的

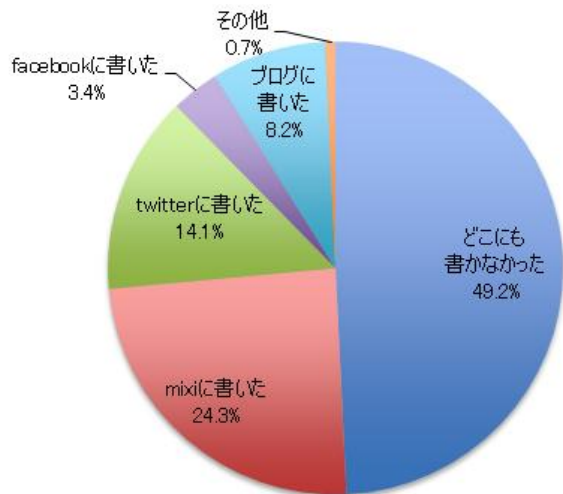
Q: 雪マジ！19を何で知りましたか？(複数回答可)



Q: 雪マジ！19を知った後、直接話したりメールにて誰かに教えましたか？(単一回答)



Q: 雪マジ！19を知った後、ソーシャルメディアやブログに書きましたか？(複数回答可)

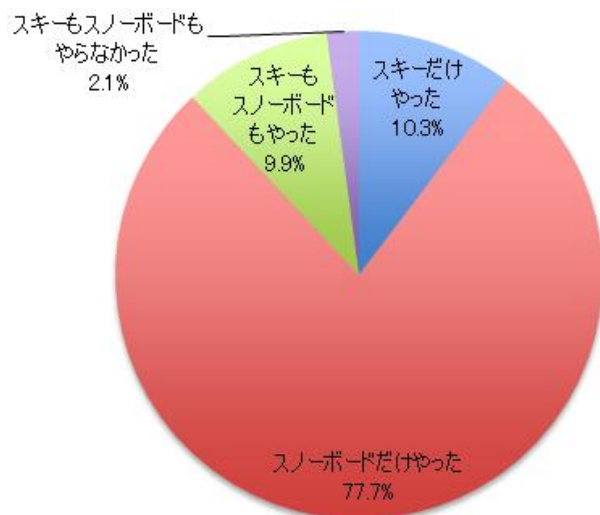


＜雪マジ！19会員対象調査 調査概要＞

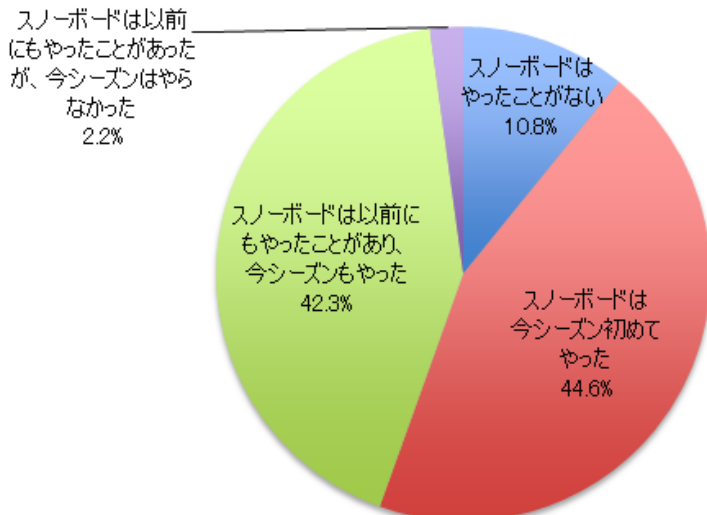
調査対象者: 雪マジ!19会員登録者
 調査方法 : インターネットアンケート調査
 調査期間 : 2012年3月15日(木)～2012年3月18日(日)
 回収数 : 2,074名

■「雪マジ！19」での来訪者は、9割が「スノーボード」を実施。スノーボード実施者の中では、今冬、初めてスノーボードを実施した初心者層が約45%と最も多い。

Q: 今冬実施したスノーアクティビティ(単一回答)

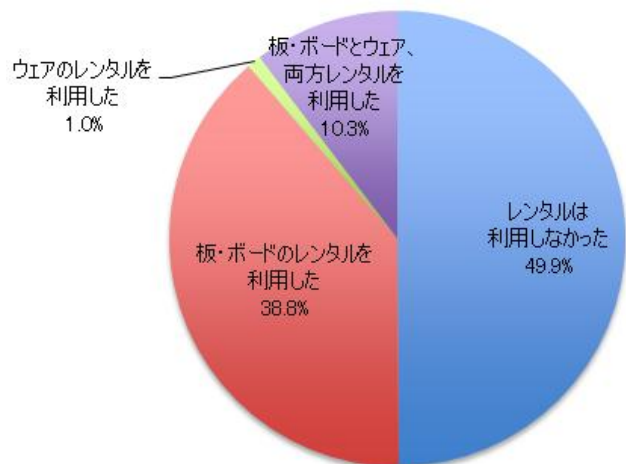


Q: スノーボードの実施経験(単一回答)



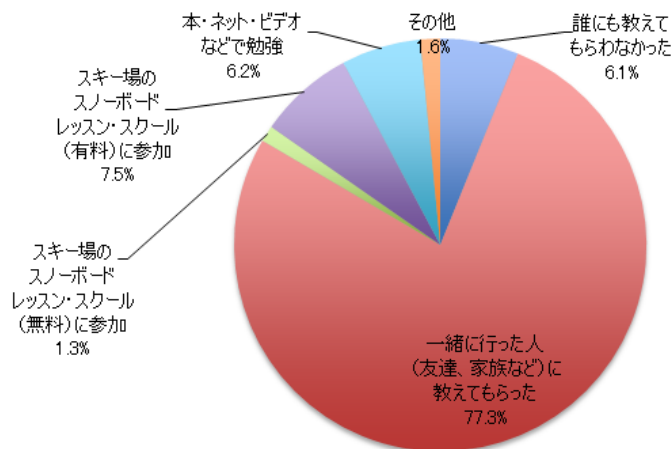
■19歳層は初心者が多く装備を持っていないためレンタル率が高く、約5割。短期的な「プレミアムモデル」としてはレンタルが収入源の1つになりうる。スクールは同行者に教えてもらうことで費用をかけない人が多い。

Q: レンタルの利用割合



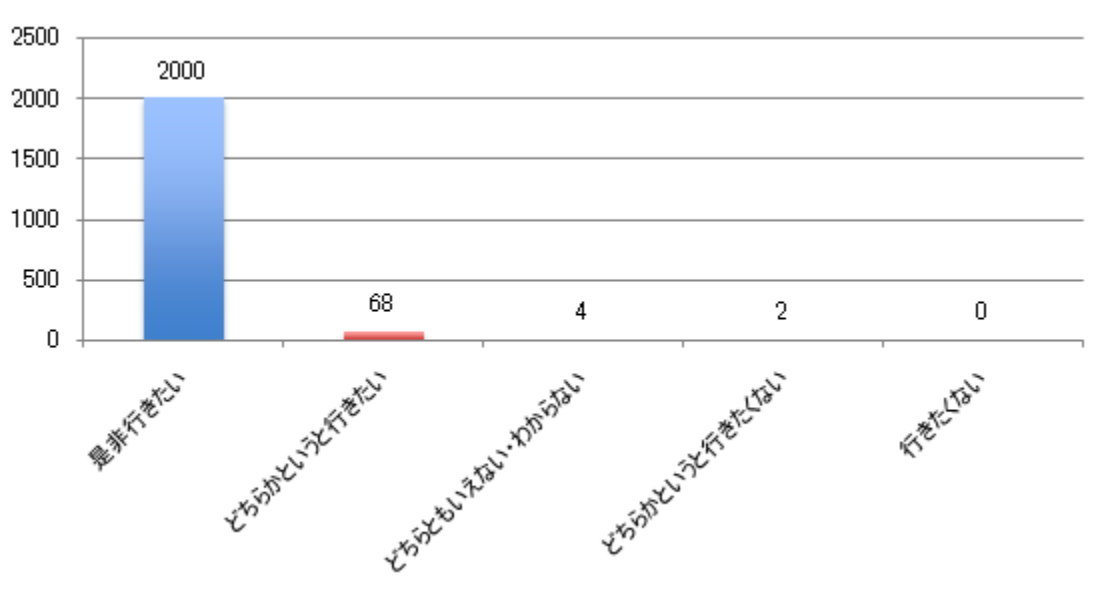
Q: スノーボードの学習方法

(今冬、スノーボードを開始した人のみ/複数回答可)



■来冬にゲレンデへ来訪したいかの5段階評価では、「是非行きたい」という最も強い意向に96.4%の回答が集中。来冬、有料でのリピートに期待を感じさせる結果となった。

Q: 来シーズンのゲレンデへの来訪意向(単一回答)



■雪マジ！19会員フリーコメントより抜粋

・今シーズン初めて大学の友達とスノーボードに行ったのですが、あまりお金がなかったので、雪マジ！19を友達に紹介されていなければスノーボードの約束は断っていました。実際に行ってみるとすごく楽しかったです！また来年もスノーボードに挑戦してみたいですし、スキー場へ行くきっかけを作ってくださいありがとうございました。(女性/埼玉県)

・今までスキーしかやったことがなかったのですが、雪マジのお陰でたくさんスキー場を訪れることもできましたし、スノボにも挑戦することが出来ました!!一緒に行った同い年の友達とももっと親しくなれた気がします♪もっと早くから知っとけばよかったー(>_<)来年も是非行きたいと思っています!(女性/神奈川県)

・群馬県の大学生です！雪マジ！19さんのおかげでたくさんスノーボードを楽しむことができました。学校のスノーボード友達も最初は1人しかいなかったのですがリフト券が無料になる事を教えると、今までスノーボードをやった事の無い友達も是非始めたいという事で、今では12人も友達とスノーボードを楽しんでいます。みんなスノーボードにハマったらしく、「次のシーズンも絶対行くく！」「今シーズン中に初心者卒業するわ！」「来シーズンも雪マジ！20かならないかな～」などみんな呟いてました。笑雪マジ！19さんのおかげで、この冬は最高の思い出がたくさんくれました。来シーズンは色々なスキー場でガンガン滑りまくるつもりです。(男性/群馬県)

■2011年度「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」参画ゲレンデー一覧

<「雪マジ！19」対象無料パターン>

A: 全日無料: シーズン中全営業日無料__54ヶ所

B: 平日無料: 年末年始(12/23～1/3)、3連休((1/7～1/9)、土日祝日以外の平日すべて無料__21ヶ所

C: 特定日以外 全日無料: 年末年始(12/23～1/3)、3連休((1/7～1/9)、2月の土日以外の平日すべて無料__7ヶ所
(一部、個別除外日の設定あり)

D: ナイター無料: シーズン中ナイター営業日すべて無料__7ヶ所

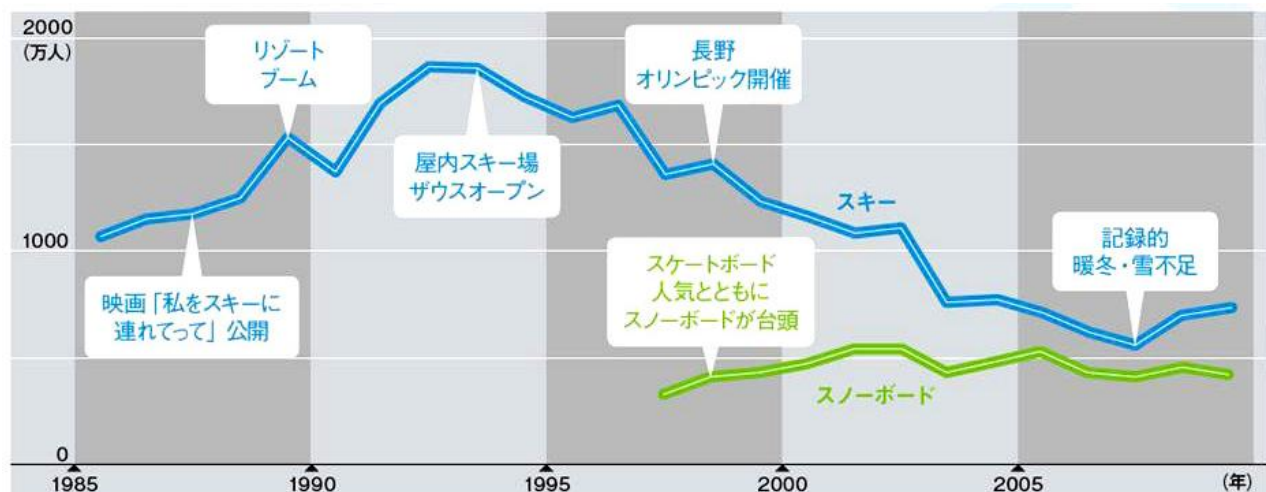
都道府県	no.	スキー場	パターン	
北海道	1	今金町ピリカスキー場	A	
	2	かもい岳スキー場	B	
	3	グリーンピア大沼スキー場	C	
	4	国設阿寒湖畔スキー場	B	
	5	ぬかびら源泉郷スキー場	B	
	6	星野リゾート トナム スキー場	A	
青森県	7	ナクア白神スキーリゾート	A	
岩手県	8	網張温泉スキー場	B	
	9	岩手高原スノーパーク	D	
	10	雫石スキー場	C	
	11	八幡平リゾートパノラマスキー場	D	
宮城県	12	オニコウベスキー場	A	
秋田県	13	秋田八幡平スキー場	A	
	14	ジュネス栗駒スキー場	A	
山形県	15	栗子国際スキー場	A	
	16	黒伏高原スノーパークジャングル・ジャングル	D	
	17	蔵王ライザワールド	C	
福島県	18	会津高原だいくろスキー場	A	
	19	会津高原高畑スキー場	A	
	20	会津高原南郷スキー場	A	
	21	あだたら高原スキー場	A	
	22	アルツ磐梯スキー場	A	
	23	猪苗代スキー場	A	
	24	裏磐梯スキー場	A	
	25	裏磐梯猫魔スキー場	A	
	26	グランディ羽鳥湖スキーリゾート	B	
	27	グランドコスノーリゾート	B	
	28	二本松塩沢スキー場	A	
	29	沼尻スキー場	A	
	30	ファミリースノーパークぼんだい×2	C	
	31	箕輪スキー場	A	
	32	横向温泉スキー場	A	
	33	リステルスキーファンタジア	B	
	34	猪苗代リゾートスキー場	B	
	35	フェアリーランドかねやまスキー場	A	
	36	スキーリゾート天栄	A	
	37	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	A	
	栃木県	38	マウントジーンズ・スキーリゾート那須	B
	群馬県	39	スノーパーク尾瀬戸倉	B
		40	ノルン水上スキー場	A
		41	パルコール孺恋スキーリゾート	A
		42	ホワイトバレースキー場	B
		43	万座温泉スキー場	A
		44	水上高原 藤原スキー場	C
		山梨県	45	カムイみさかスキー場
	46		サンメドウズ清里スキー場	B

都道府県	no.	スキー場	パターン
長野県	47	ASAMA2000パーク	C
	48	あららぎ高原スキー場	D
	49	X-JAM高井富士	A
	50	エコバレースキー場	D
	51	おんたけ2240	A
	52	車山高原スキー場	C
	53	黒姫高原スノーパーク	A
	54	治部坂高原スキー場	B
	55	中央道伊那スキーリゾート	D
	56	野麦峠スキー場	A
	57	白馬さのさかスキー場	A
	58	白馬八方尾根スキー場	D
新潟県	59	ヘプンスそのはら SNOW WORLD	A
	60	Mt.乗鞍	A
	61	よませ温泉スキー場	A
	62	池の平温泉スキー場	A
	63	シャルマン火打スキー場	A
	64	まつだいファミリースキー場	A
	65	松之山温泉スキー場	A
岐阜県	66	六日町スキーリゾート	A
	67	湯沢中里スキー場	A
	68	白川郷平瀬温泉 白弓スキー場	B
	69	スノーウェーブパーク白鳥高原	B
	70	乗鞍高原 飛騨高山スキー場	A
	71	飛騨かわいスキー場	B
	72	ひだ舟山スノーリゾートアルコピア	A
	73	平湯温泉スキー場	A
滋賀県	74	モンドウス飛騨位山スノーパーク	A
	75	国境高原スノーパーク	A
兵庫県	76	箱館山スキー場	A
	77	おじろスキー場	B
	78	ばんしゅう戸倉スノーパーク	A
	79	ミカタスノーパーク	B
鳥取県	80	若杉高原おおやスキー場	A
	81	奥大山スキー場	A
	82	だいせんホワイトリゾート	B
	83	大山榎水高原スキー場	A
	84	花見山スキー場	A
島根県	85	わかさ氷ノ山スキー場	A
	86	アサヒテングストンスキー場	A
広島県	87	瑞穂ハイランドスキー場	B
	88	ユートピアサイオト	A
宮崎県	89	五ヶ瀬ハイランドスキー場	A



<参考>「雪マジ！ふくしま」
 福島県は「雪マジ！19」に運動し、福島県事業として「雪マジ！ふくしま」を実施。
 県内16ゲレンデにて、20歳～22歳のリフト券も無料とした。
 多くの若者が、震災後の冬の福島に訪れ、活気をもたらした。

■スキー・スノーボード人口の推移



出典：「レジャー白書2010」日本生産性本部（2010年7月）1年間に1回でもその活動に参加した人の人数であり、のべ人口ではない。2009年度データより、調査手法が訪問留置法からインターネット調査に移行。

■「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」プロジェクト概要

スキー・スノーボードなどのスノーアクティビティは、参加者の年齢が上がるにつれて参加率が低下するという特徴があるため、スノーアクティビティを開始する若年層・初心者層の強化と、その後、長く継続していただくための方策が必要となります。本プロジェクトは、このような業界・地域に共通する課題に取り組むため、19歳を中心とした若年層スキーエリアを訪れる若者を増やし、今後長きにわたってスキーエリアを再活性化させる目的で発足させました。

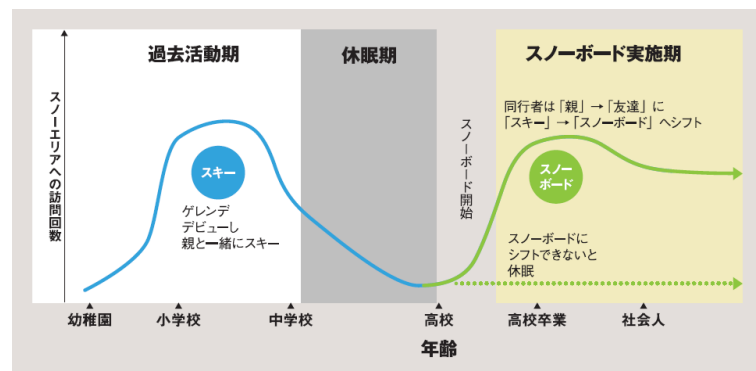
活動初年度の今期は、スキー場のフリーミアムビジネスを目指し、国内89カ所のスキー場と連携して、2011年度中19歳（1992年4月2日～1993年4月1日生まれ）のリフト券代を無料※1にしました。スノーアクティビティ市場にとって最も重要なエントリー層である19歳層を対象にスキー場来訪のきっかけを与え、スキーエリアの中長期での集客増・再活性化を目指しました。

※1：公式サイト「雪マジ！19～SNOW MAGIC～」にて、会員登録（無料）が必要（<http://www.jalan.net/yukimajii19/>）



■本プロジェクトターゲット概念図

スキー・スノーボード経験者の中で「高校生の頃」(15歳～18歳)、「高校卒業後、社会人になる前まで」(19歳～22歳)で、スノーボードを開始した若者は、現在もスキー場に来ています(じゃらんリサーチセンター調べ)。「生涯中のスキー場訪問総数」を左右するエントリータイミングは、高校を卒業した最初の冬を迎える「19歳前後」と考え、本プロジェクトでは19歳をターゲットとしております。



<19歳の、3つの壁>

19歳前後では、以下の3つの変化が同時に訪れるため、スキー場来訪ハードルになっていると思われます。

- ①同行者の壁： 家族旅行から友人との旅行へ
- ②費用負担の壁： 親が費用負担から、自分で費用負担へ
- ③アクティビティの壁： 「スキー」から、若者イメージの「スノーボード」へ